

第128回経営協議会議事要録

日 時 令和7年1月23日（木）13時30分～14時25分

会 場 甲府キャンパス大学本部棟第1会議室

出席者 (委員)

長田・進藤・山本・山中・窪田・野田・吉岡・齊藤・佐々木 各委員
中村学長、黒澤・奥田・茅・片田・市川・木内 各理事

(列席者)

小林理事、小俣・數野 各監事、埴副学長
志村・土屋・深澤・種田・壬生・雨宮・望月・小谷・石原 各部長、
永倉・植村・齊藤・岩元・大坂・笹原・大森・千野 各課長

議事要録確認

第127回（R6.11.21開催）の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

1 令和6年度学内補正予算（二次）編成（案）について

市川理事及び種田財務部長から、資料1により、文部科学省令和6年度補正予算において本学に措置された光熱費高騰対応財源及び人事院勧告への対応財源に関して、学内補正予算（二次）を編成することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

2 令和7年度学内予算編成方針（案）について

市川理事及び種田財務部長から、資料2により、令和7年度学内当初予算を編成するにあたり、方針を定めることについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 学則及び大学院学則の一部改正（案）について

黒澤理事から、資料3により、全学共通教育におけるクォーター制度の導入や医学部医学科の入学定員暫定増措置、教育学部及び生命環境学部の入学定員の変更等に伴い、関係規則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 中期計画の変更（案）について

黒澤理事から、資料4により、自然教育園を来年度以降に譲渡する（売却）こと、及び令和7年度入学定員を変更することに伴い、中期計画の変更手続きを行うことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

5 令和6年度自己点検・評価に向けた実施方法等の見直し（案）について

黒澤理事から、資料5により、各学域等における令和6年度計画に対する自己点検・評価の実施方法等を見直すこと、及びこれを踏まえた「令和6年度自己点検・評価実施方法等」の原案について説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 来客専用駐車スペース（甲府西キャンパスJ号館前）の整備（案）について

片田理事から、資料6により、甲府西キャンパスJ号館前に来客者専用駐車スペース（6台程度）を確保・整備することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

1 令和7年度概算要求（運営費交付金及び施設整備費補助金）の状況について

市川理事から、資料7により、令和7年度概算要求を行っていた運営費交付金及び施設整備費補

助金に係る文部科学省からの予算内示状況について報告があった。

- 2 大学運営に係る執行部と学域との意見交換会の実施結果等について
黒澤理事から、資料8により、各学域の喫緊の課題等に対し、執行部と各学域が共通理解を持って取り組むために行った標記意見交換会の結果や今後の対応等について報告があった。
- 3 ステークホルダーミーティングの実施結果等について
黒澤理事から、資料9により、本学の内部質保証の確保や「中期目標大綱」、「学長ビジョン」への対応を目的として行った標記ミーティングの実施結果等について報告があった。

その他

- ・市川理事から、本学が申請している日本学術振興会（文部科学省）が公募した「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」の採択結果が近日中に公表される旨の報告があった。

次回会議 令和7年3月25日（火）10時30分から甲府キャンパスで開催することを確認した。

学外委員からの意見・質問

審議事項

1 令和6年度学内補正予算（二次）編成（案）について

（野田委員）

- ・ 人事院勧告への対応について来年度も同様の対応が可能なのか。

（種田部長）

- ・ 今年度は積立金の余剰金立替相当分を取り崩して充当したが、来年度は剰余金の残額等を活用しつつ、不足が生じる場合は別途財源を確保する予定である。

2 令和7年度学内予算編成方針（案）について

（山本委員）

- ・ 大学の財務状況を社会に発信して共有していくことが重要だと考える。

（窪田委員）

- ・ 支出の削減には限界があるので、収入増の取組みを強化していくことも必要ではないか。

（市川理事）

- ・ 大学の情報を積極的に発信することを通じて、ネーミングライツやクラウドファンディングなどの収入増に向けた取組みを推進するなどし、経営基盤の強化を図っていきたい。

（野田委員）

- ・ 附属病院においては、診療報酬の算定漏れ対策や差額ベッド代の拡充などさらなる収入の増加を図っていくことができるのではないか。

（木内理事）

- ・ 院内の取組みにより算定漏れは非常に少ない状況となっている。一方、差額ベッド代については多少収入増の伸びしろがあると思われるので工夫していきたい。なお、材料費や医薬品費の医療費率を抑えるよう、業者との価格交渉には病院長はじめ病院執行部も参加している。

（野田委員）

- ・ 病院の収入は大学本部の収入と切り離されているか。

（片田理事）

- ・ 制度上は病院と大学本部の収入はまとめることは可能だが、本学では病院と大学本部で切り離して運用している。

3 学則及び大学院学則の一部改正（案）について

（野田委員）

- ・ 資料では令和7年度の入学定員が125名であることに對し、令和8年度以降は105名となっている。医学部定員の今後の推移についてはどのような見通しか。

（黒澤・片田理事）

- ・ 125名の定員については来年度のみの措置で、その後については都度定員増の手続きをすることとなっている。

報告事項

2 大学運営に係る執行部と学域との意見交換会の実施結果等について

（山本委員）

- ・ 学生と対話する機会などは設けているのか。

(中村学長)

- ・各学域では設けているが、大学として学生と直接対話する機会は現在設けていない。

(片田理事)

- ・今後は、卒業生向けに行ったアンケートのフィードバックや入学生に対する志望理由の調査などを行っていく予定である。

3 ステークホルダーミーティングの実施結果等について

(野田委員)

- ・ミーティング本会での形式的な雰囲気と懇親会のフレンドリーな雰囲気の中間的な雰囲気を実施できれば、今以上に活発な議論ができるのではないか。

(中村学長)

- ・ご意見を踏まえ、検討していきたい。